

授業科目 解剖学実習 II

【担当教員名】 奈良 貴史、西野 幾子、山口 康昭		対象学年	1	対象学科	理学・作業
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	◎	○	
【概要・一般目標：GI0】 人体組織の微細構造を光学顕微鏡的に観察し、それらを理解する。 人体器官の構造と機能を理解する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 骨・軟骨・筋・神経組織の構造を理解し、光学顕微鏡的に概説できる。 2. 人体の構造を3次的に理解し、簡潔に概説できる。					
回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	解剖学実習 II の概要とオリエンテーション、組織学実習	1	実習		
2	組織学実習：顕微鏡を用いた人体組織標本の観察とスケッチ	1	実習		
3	組織学実習：顕微鏡を用いた人体組織標本の観察とスケッチ	1	実習		
4	組織学実習：顕微鏡を用いた人体組織標本の観察とスケッチ	1	実習		
5	組織学実習：顕微鏡を用いた人体組織標本の観察とスケッチ	1	実習		
6	組織学実習：顕微鏡を用いた人体組織標本の観察とスケッチ	1	実習		
7	組織学実習：顕微鏡を用いた人体組織標本の観察とスケッチ	1	実習		
8	組織学実習：顕微鏡を用いた人体組織標本の観察とスケッチ	1	実習		
9	組織学実習：顕微鏡を用いた人体組織標本の観察とスケッチ	1	実習		
10	組織学実習：顕微鏡を用いた人体組織標本の観察とスケッチ	1	実習		
11	組織学実習：顕微鏡を用いた人体組織標本の観察とスケッチ	1	実習		
12	人体解剖学見学実習のオリエンテーション	2	実習		
13	人体解剖見学実習：日本歯科大学	2	実習		
14	人体解剖見学実習：日本歯科大学	2	実習		
15	人体解剖見学実習：日本歯科大学	2	実習		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学	奈良 勲、鎌倉矩子	医学書院	2010・6,000円＋税
参考書					
その他の資料		実習書の配布			
【評価方法】 実習態度、出席状況、スケッチブック、 筆記試験の総合評価		【履修上の留意点】 実習室では白衣を着用すること。標本の数により全員が同じ順序で実習することは不可能なので、説明をよく聞くこと。 スケッチブック（指定）と色鉛筆が必要。 実習はやり直しができないので、欠席をしないこと。			